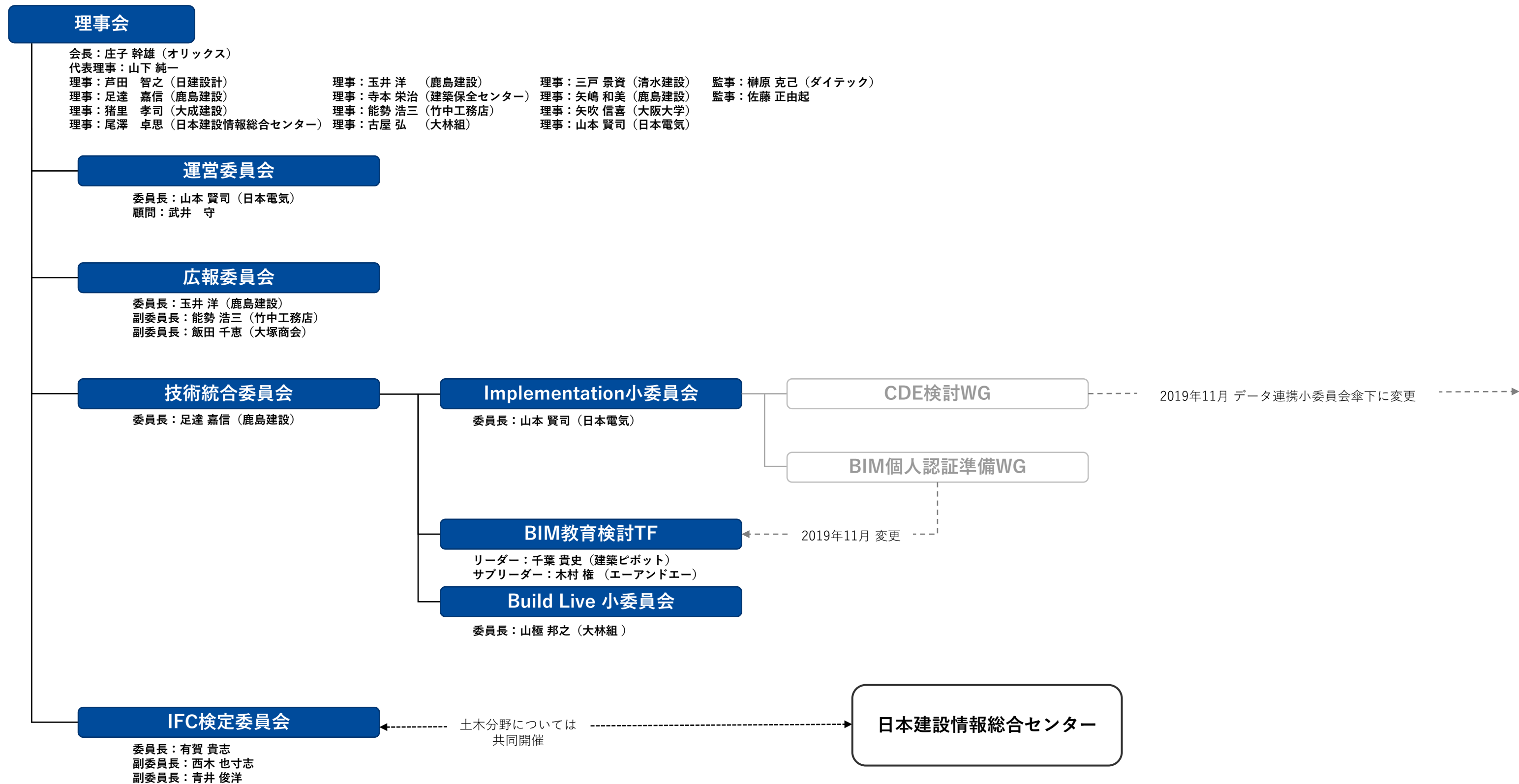




第17期活動報告および第18期活動計画

2020.06

buildingSMART Japan



運営委員会

活動主旨	b S J の活動が円滑に行えるように調整を行う
主な目的	- 各種委員会の報告を受け、経営委員会での決定に基づいた調整を行う - bsJの活動が遠隔に進むように、企業・他機関との調整を行う - 年度の計画、中長期計の立案と運用を行う
開催頻度	毎月開催



体制			第17期活動実績	第18期活動計画
小委員会	委員長 山本 賢司（日本電気） 代表理事、各委員会の委員長、各小委員会委員長、事務局長及び運営委員会（理事会）の指名によるメンバー。 ※委員長欠席時は副委員長（または代理）が参加。 ※各小委員会から必ず1名は参加	33名	- 各委員会活動報告 - bSI関連活動報告・調整 —Summit報告（3月：Dusseldorf、10月：Beijin） —IC報告（6月：Helsinki） - 関連組織委員会関連活動報告・調整 —BIM/CIM推進会議、建築BIM推進会議	- 各種委員会の報告を受け、経営委員会での決定に基づいた調整を行う。 - b SJの活動が遠隔に進むように、企業・他機関との調整を行う。 - 年度の計画、中長期計の立案と運用を行う。

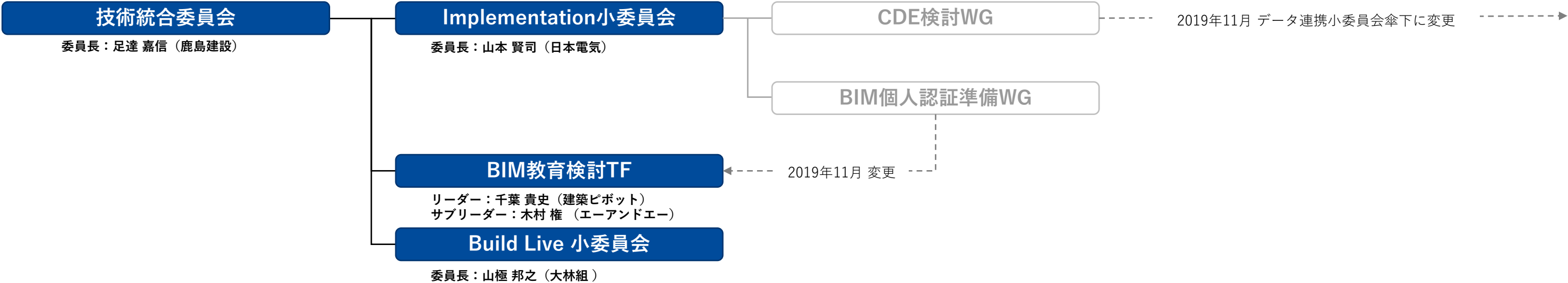
広報委員会

活動主旨	building SMART Japanの活動を社会(業界)へ広める為の広報支援を行う。
主な目的	bSJの活動を業界に広め、IFCデータやBIMの利用促進を図る。 - 各セミナー開催の支援 - bSJ関連イベントの支援 - ホームページの運営・管理 - SNSの活用他
開催頻度	イベントに合わせて不定期に開催。



体制			第17期活動実績	第18期活動計画
小委員会	委員長 玉井 洋（鹿島建設） 副委員長 能勢 浩三（竹中工務店） 飯田 千恵（大塚商会）	4名	- bSJ各種イベント支援、 - ホームページリニューアル - ホームページコンテンツ管理支援 - 会員サイトのニュース掲載・・・会員への情報公開 - 広報活動に資する各メーカーへの交渉支援等 - 各小委員会発信の広報支援 - 出版関連の対応 - 官公庁への対応 - 公共団体への広報活動支援	- bSJ各種イベント支援、 - ホームページリニューアル - ホームページ運営・管理 - 会員サイトのニュース掲載・・・会員への情報公開 - 広報活動に資する各メーカーへの交渉支援等 - 各小委員会発信の広報支援 - 出版関連の対応 - 官公庁への対応 - 公共団体への広報活動支援 - Webセミナーの実施（Webinar）

buildingSMART Japan 技術統合委員会



技術統合委員会

活動主旨	国内外のBIM関連活動、buildingSMART Internationalなどと連携し、BIMに関する技術的課題の把握や調査、課題解決をするためのWGやタスクフォースなどの構築を推進する。
主な目的	- IFC実装技術、IFC検定、BIM教育などを中心としたオープンBIM普及活動 - 建築委員会、土木員会の各小委員会、WGと連携し、技術的課題の把握や調査、課題解決をするための活動体制の構築 - 国内外のBIM関係組織と横断的に連携した活動を推進
開催頻度	本委員会は月一回程度の開催予定



体制			第17期活動実績	第18期活動計画
委員会	委員長 足達 嘉信（鹿島建設）	34名	< 技術報告 > - bSJ_技術報告_20190619_Pset命名規則.pptx - bSJ_技術報告_20190802_IFCデータ連携パターン_rev3.pptx < b SIサミット報告・発表 > - bSI International Standards Summit Beijing 2019 報告.pdf - IFC Model Server APIs Toward Long term BIM Platform - Update of IfcSpatialZone < 対外活動 > - BIMを活用した木造建築物のデジタル設計施工検討委員会2019年度委員（木構造BIM委員会） ・PFI協会：PFI・PPPスマートシティ研究会「スマートシティ・デジタルツインへのBIMの可能性」	- MVDコンセプトの確認と承認 - IFCエキスパートの育成 - bSI 連 携 活 動 （ サ ミ ッ ト 、 国 際 幹 事 会 、 Standard Committee投票対応など） - オープンBIMに資する教育コンテンツ作成と展開 - 技術的課題の把握と解決 - 技術報告の作成と公開
スマートシティWG	リーダー 足達 嘉信（鹿島建設）			- 内閣府の発行したスマートシティアーキテクチャにおける都市OS、と都市デジタルツインへのBIM活用について、具体的な技術的課題、方向性を検討 - スマートシティ都市デジタルツインへのBIM活用のコンセプトについての意見交換 - スマートシティ都市デジタルツインに資するIDM、MVDの検討
ロボット・IoTプラットフォーム連携WG	リーダー 足達 嘉信（鹿島建設）			- 建設ロボット、移動ロボットが必要とする環境マップへのIFCデータ要件の検討 - ロボットアプリケーションのIDM,MVDの検討 - IoTアプリケーションに必要なIFCデータ要件の検討 - IoTアプリケーションのIDM,MVDの検討
IFCエキスパートWG	リーダー 足達 嘉信（鹿島建設）			- IFCエキスパート講習会コンテンツの作成 - IFCエキスパート講習会の実施 - IFCエキスパートコミュニティの構築

Implementation小委員会

活動主旨	IFCを活用した業務運用を実証し、実業務での具体的利用を検証
主な目的	- IFC普及に向けた実証・検証、啓蒙活動 - 日本版CDE、BIMプラットフォームの検討（CDE検討WG） - 個人認証組織体系の調査（BIM個人認証準備WG）
開催頻度	毎月開催



体制			第17期活動実績	第18期活動計画
委員会	委員長 山本 賢司（日本電気）	60名	- PDF上へのIFCモデルの自動配置実現に向けての検討 - BIMServer.org及びAPIの教育に関する検討 - 製品紹介（BIM Objectサイト：BIM Obeject Japan）	- IFC普及に向けた実証・検証、啓蒙活動 ーBIMの情報共有DBの導入及び活用検討 - 新規技術・事例紹介

BIM教育検討TF

活動主旨	日本におけるBIM/IFCの普及展開のために、教育のあり方、教育コンテンツ、認証制度などについて検討を進める。
主な目的	• BIM教育のためのコンテンツ（書籍等）を調査、研究する • 教科書あるいは参考書となる書籍を出版、翻訳する • BIM/IFCに関するopenBIM教育WEBコンテンツを検討、制作する • bSIで実施しているProfessional Certificationの内容をフォローアップし、日本での実施に必要な要件を整理する
開催頻度	• 適宜開催



体制			第17期活動実績	第18期活動計画
小委員会	リーダー 千葉 貴史（建築ピポット） サブリーダー 木村 謙（エーアンドエー）	9 名	• The BIM Manager翻訳企画・調整 • openBIM教育WEBコンテンツ検討・作成	• The BIM Manager翻訳・調整・出版 • The BIM Manager出版講習会 • openBIM教育WEBコンテンツ検討・作成 • 個人認証制度の検討

IFC検定委員会

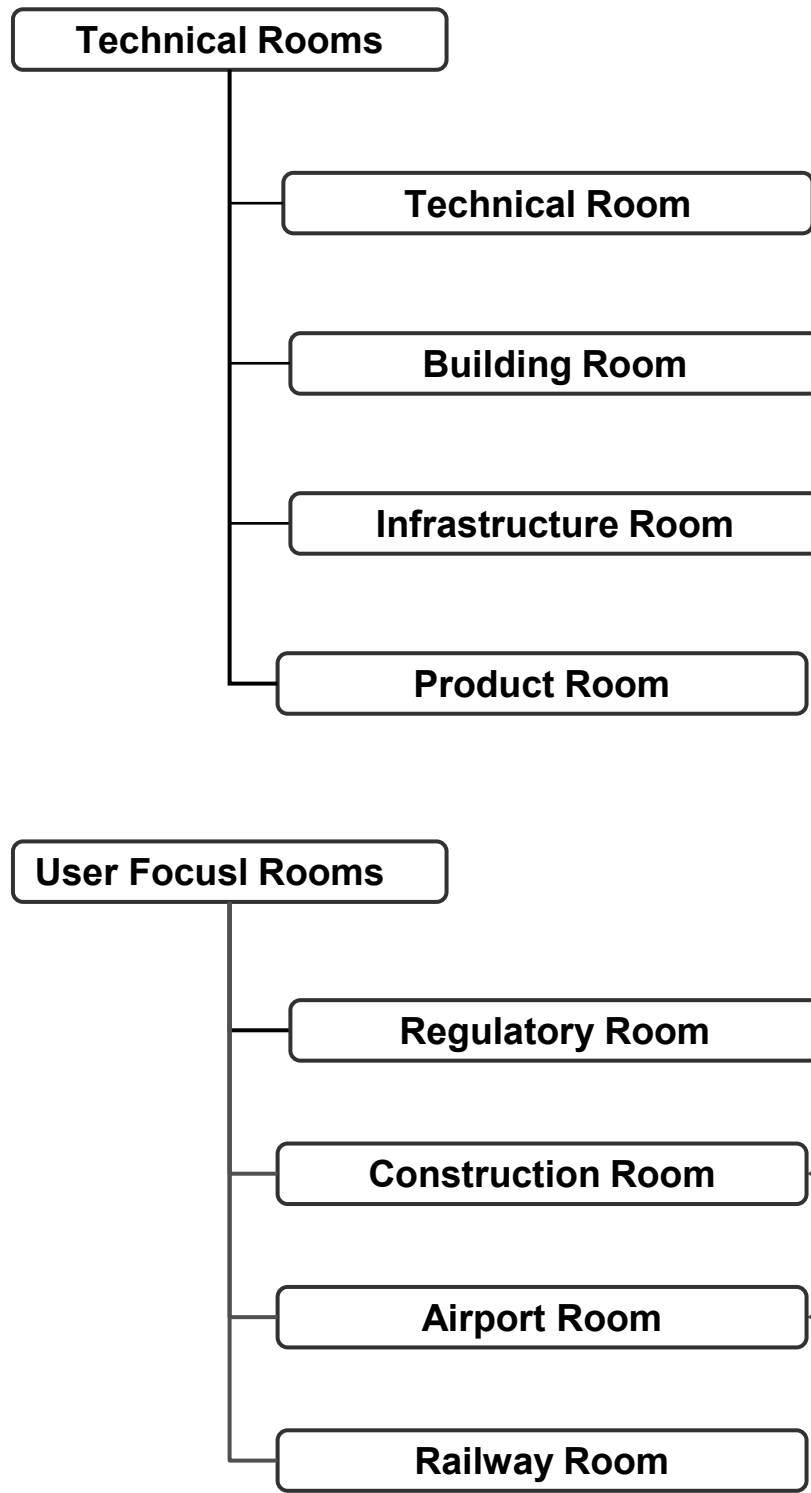
活動主旨	BIMソフトのIFCデータ連携品質向上および実用化の加速を図ることを目指し、IFC検定事業を実施する。
主な目的	- IFC検定に関わる下記の活動を目的とする： - IFC検定分野の確認と承認 - IFC検定に必要な手順書・検定モデルデータなどの準備 - IFC検定審査員資格のための講習会開催 - IFC検定WGメンバーの任命 - IFC検定の指揮、監理、調停 - IFC検定の審査および結果公開
開催頻度	毎月開催



体制			第17期活動実績	第18期活動計画
小委員会	委員長 有賀 貴志 副委員長 西木 也寸志 副委員長 青井 俊洋	11名	- IFC検定ガイドラインの改訂 - IFC検定（土木）の開始 - IFC2x3のMVDを改訂 - ドキュメント公開条件（ステータスを含む）を定義	- IFC検定に関するワークフローの拡充 - 設備、土木に関するIFC検定の検討 - IDM、MVD等の作成ガイドラインの作成 - IFC検定等に関する情報発信の強化

buildingSMART Japan 建築委員会

buildingSMART International



建築委員会
委員長：矢嶋 和美（鹿島建設）
副委員長：三戸 景資（清水建設）
副委員長：安井 謙介（日建設計）

専門家会議 参加

専門家会議 参加

専門家会議 参加

buildingSMART Japan

意匠設計小委員会

委員長：安井 謙介（日建設計）
副委員長：玉井 洋（鹿島建設）
能勢 浩三（竹中工務店）

法規WG

リーダー：武藤 正儀（建築研究所）

デジタル確認申請WG

リーダー：関戸 有里（日本ERI）
サブリーダー：野口 元（竹中工務店）

IFC検定準備WG

リーダー：鈴木 剛（コミュニケーションシステム）

BEPWG

リーダー：安井 謙介（日建設計）

STB普及WG

リーダー：坂井 悠佑（日建設計）
サブリーダー：大越 潤（大成建設）

STB計算WG

リーダー：宇佐美 祐人（構造計画研究所）

情報連携WG

リーダー：石井 潤哉（ソフトウェアセンター）

鉄骨詳細検討WG

リーダー：大越 潤（大成建設）

設備ITFCWG

リーダー：向來 信（須賀工業）

設備IFC検定準備WG

リーダー：端野 篤隆（竹中工務店）

構造設計小委員会

委員長：大越 潤（大成建設）
副委員長：坂井 悠佑（日建設計）

設備環境小委員会

委員長：谷内 秀敬（三菱冷熱工業）
副委員長：山口 正明（ダイテック）

施工・IoT小委員会

委員長：遠藤 賢（鹿島建設）
副委員長：古橋 達也（松井建設）
副委員長：坂上 匡寛（竹中工務店）

建築データ連携小委員会

委員長：三戸 景資（清水建設）
副委員長：安井 好広（鹿島建設）

建築ガイドライン小委員会

委員長：武藤 正樹（建築研究所）

建築BIM推進会議対応TF

委員長：安井 謙介（日建設計）

専門工事業者BIM連携WG

リーダー：三戸 景資（清水建設）

CDE WG

リーダー：山本 賢司（日本電気）

建築BIM推進会議

部会 1

部会 2

部会 3

部会 4

部会 5

開催

意匠設計小委員会

活動主旨	建築計画における空間要素情報の活用手法検討
主な目的	- 建築計画における空間要素情報の活用手法検討 - 確認申請／審査業務におけるBIM活用の実現を中心テーマとした活動 BCF3.0、確認申請ビューワー、IDM2.0の検討 - IFC検定に向けた準備
開催頻度	委員会＋WGは各月一回程度



体制			第17期活動実績	第18期活動計画
小委員会	委員長 安井 謙介（日建設計） 副委員長： 玉井 洋（鹿島建設） 能勢 浩三（竹中工務店）	68名	- 建築計画における空間要素情報の活用手法検討 - 確認申請／審査業務におけるBIM活用の検討	- 建築計画における空間要素情報の活用手法検討 - 確認申請／審査業務におけるBIM活用の検討
法規WG	リーダー 武藤 正儀（建築研究所）	20名	- b SI RR（Regulatory Room）との連携 - 国交省、建研、海外研究所等のプロジェクト進捗情報の共有	- b SI RR（Regulatory Room）との連携 - 国交省、建研、海外研究所等のプロジェクト進捗情報の共有
デジタル確認申請WG	リーダー 関戸 有里（日本ERI） サブリーダー 野口 元（竹中工務店）	29名	- IFC、PDFの重ね合わせツールの開発 - 法規情報IDM、MVDの検討	- 確認申請ビューワーの開発 - 次世代法規情報（IDM2.0）の検討 - BCF3.0の検討
IFC検定準備WG	リーダー 鈴木 剛（コミュニケーションシステム）	18名	IFC検定に向けた検定準備	IFC検定に向けた検定準備（IDM、MVD）
BEPWG	リーダー 安井 謙介（日建設計）	9名	開催無し	開催予定無し ※国交省のBEPが発行された後、開催予定

構造設計小委員会

活動主旨	建築構造分野におけるBIMの普及
主な目的	・ 建築構造分野におけるIFC利用促進 ・ ST-Bridgeの開発と普及促進 ・ 建築構造分野と他分野との情報連携の促進
開催頻度	小委員会は年3回開催し、各WG（情報連携WGを除く）は小委員会を除く毎月開催。



体制			第17期活動実績	第18期活動計画
小委員会	委員長： 大越 潤（大成建設） 副委員長： 坂井 悠佑（日建設計）	54名	・ ST-Bridge2.0の仕様拡張 ・ WG共通課題の協議・仕様の確定 ・ ST-Bridge2.0の普及促進に向けた開発フォロー ・ ベンダー各社の対応状況の確認	・ ST-Bridge2.0の仕様拡張に向けた取り組み ・ 本編の拡張（デバイス等既製品） ・ 計算編2.0の公開 ・ 鉄骨詳細受け渡し共通仕様の検討 ・ ST-BridgeのIFC化の検討 ・ 建築構造分野と他分野との情報連携手法の促進 ・ 施工・製作連携の検討
STB普及WG	リーダー 坂井 悠佑（日建設計） サブリーダー 大越 潤（大成建設）	32名	・ ST-Bridge2.0以降の追加仕様検討 ・ デバイスの仕様拡張 ・ ST-Bridge2.0の仕様修正 ・ BimClipの提案事項の解決	・ ST-Bridge2.0以降の追加仕様検討 ・ ST-Bridge2.0の仕様修正 ・ ST-Bridge2.0のインポート・エクスポート検証 ・ ST-BridgeのIFC化の検討
STB計算WG	リーダー 宇佐美 祐人（構造計画研究所）	18名	・ ST-Bridge2.0計算編の作成 ・ ST-Bridge2.0本編との仕様調整 ・ 一本部材・ダミー部材等	・ ST-Bridge2.0計算編の作成 ・ ST-Bridge2.0計算編の実証検討 ・ ST-Bridge2.0計算編のIFCとの連携検討
情報連携WG	リーダー 石井 潤哉（ソフトウェアセンター）	54名	・ 情報連携マップ2019の作成・公開 ・ 情報連携マップ2020の作成	・ 情報連携マップ2020の作成・公開 ・ 情報連携マップ2021の作成
鉄骨詳細検討WG	リーダー 大越 潤（大成建設）	18名	・ 鉄骨詳細仕様受け渡しシナリオの検討 ・ 鉄骨ファブリケーター間連携の実現 ・ ST-Bridge2.0鉄骨詳細仕様の修正提案 ・ スプライス継手仕様	・ 鉄骨詳細受け渡し共通仕様の検討 ・ 柱ベースプレート ・ 柱梁仕口 ・ 梁ガセットプレート

設備環境小委員会

活動主旨	BIM運用で価値を創造するため、IFCによるつながりを活性化させることを目指し仕様策定・運用方法の立案を行う。
主な目的	- 仕様・ソフトの開発を通じて、設備CADベンダーやユーザーによるIFC利用を働きかける - 実務者の抱える課題を抽出し、開発につなぐ - IFC利用業務運用を提案する - 設備IFC利用標準、国際運用対応
開催頻度	- 毎月1度開催 - WGは随時開催



体制			第17期活動実績	第18期活動計画
小委員会	委員長 谷内 秀敬（新菱冷熱工業） 副委員長 山口 正明（ダイテック）	70名	bSJ プロパティセット名調整 IfcSystem の用途に関するユーザーの要望確認 IfcPort 、bSJプロパティセットについて北京サミットにて情報収集 IFC4メリット確認 設備IFCデータ利用標準Ver.2.0（案）データの階層、オブジェクトタイプ ユーザーの要望確認	Spatialzone 要件策定 業務フロー適合 用途分類を整理 用途名称受け渡し案作成 IFC4導入後の業務フロー検討 設備IFCデータ利用標準Ver.2.0（案）作成 IFCユーザーへの発信 設備IFCセミナー
設備 IFC WG	リーダー 向來 信（須賀工業）	18名	- 仕様検討 IFC4.0に対応するための仕様検討を実施 設備IFCデータ利用標準V2.0(案)」を策定 - 次回IFC検定対象の検討 委員会にて設定された「積算」をテーマとして具体的な検定項目を検討	仕様検討 小委員会にて策定したIDMに基づき、 仕様（MDB）の開発・改良を実施 積算連携の検定項目として、 ユーザーの要望する運用をヒアリング
設備IFC検定準備WG	リーダー： 端野 篤隆（竹中工務店）	70名	同小員会を代表して BSJ IFC検定TaskForceに参画 IFC検定プロセス、判定基準等を明らかにすることを目的とした仕組みを構築 各設備CAD間で相互に出力したIFCモデルで積算した場合の問題点抽出 機器分類コードのベンダー間共有の課題、問題点抽出	同小員会を代表して、BSJ IFC検定委員会に参画 実施の整備にむけた、IFC検定のプロセスとドキュメントの整備 ユーザーニーズに基づいた検定 機器分類コード検定 検定委員会メンバー養成勉強会

施工・IoT小委員会

活動主旨	施工現場におけるBIM活用の推進ならびに生産性向上、BIMとICT、IoTの連携利用の促進、竣工後データの保管に関する調査・研究と情報共有
主な目的	・ 施工フェーズにおけるBIMの活用をテーマに活動 ・ BIMデータを保管するプラットフォーム（Common Data Environment）とCDEとした他システム（画像、IoT、GIS、BI/AIなど）の連携に関する国内外の動向について調査・共有を行う
開催頻度	・ 月1回の定期開催



体制			第17期活動実績	第18期活動計画
小委員会	委員長：遠藤 賢（鹿島建設） 副委員長：古橋 達也（松井建設） 副委員長：坂上匡寛（竹中工務店）	114名	buildingSMART InternationalのConstruction Roomの活動と連携し、国内外の施工に関わるBIMをテーマとした情報交換ならびに、IFCに関わる基礎的な技術資料について読み合わせを行う勉強会（IFC塾）を実施している。 月次定例会議開催（下記のテーマで計10回実施） ・ bSIデュッセルドルフサミット報告会 ・ IDM Toolkitプロジェクトの紹介 ・ 米ALICE社によるAI工程計画ソフトの紹介 ・ Oracleイノベーションラボの紹介／BEP勉強会 ・ 積算IDM資料の紹介 ・ QuantityTakeOff（QTO）関連資料の紹介 ・ 北京サミットConstructionRoomの発表報告会 ・ BEXEL社6DSolutionの紹介 ・ LoD勉強会 ・ 建設プロジェクトにおけるInformation Management ・ 国交省BIM推進会議「BIMロードマップ」の解説 bSI Summit会議 ・ デュッセルドルフサミットにてConstructionRoomを開催 ・ 北京サミットにてConstructionRoomを開催	・ 月次定例会は、オンラインでの開催を予定 ・ 前年度同様に、最新テーマの探索、IFCの用語、基礎技術の勉強会を継続実施する。

建築データ連携小委員会

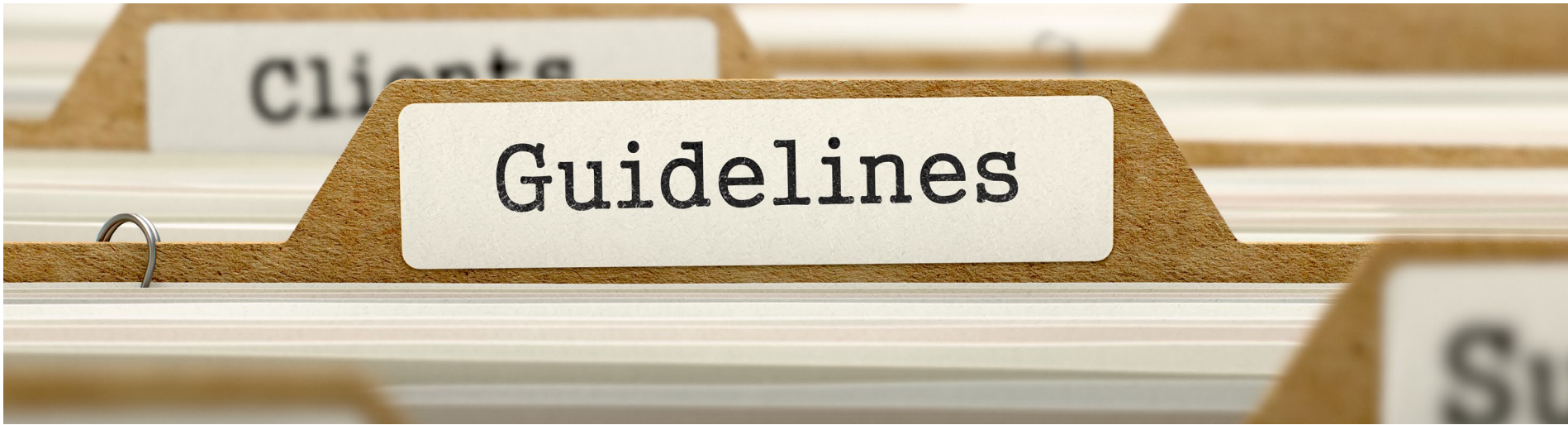
活動主旨	建築生産プロセスに用いるデータの構成と連携方法について検証、検討を行う
主な目的	建築生産プロセスに用いる媒体を、紙からデータに変えていくために、連携プロセスを整理し、データ連携に必要な環境を整備することを目的とする。
開催頻度	・ 隔月



体制			第17期活動実績	第18期活動計画
小委員会	委員長 三戸 景資（清水建設） 副委員長 安井 好広（鹿島建設）	16名	・ データ関係の基本的な考え方を整理 ・ 建築BIM推進会議 部会5対応	・ データ関係仕様の整理取りまとめ ・ CDEで格納するEvidence Dataの在り方検討 ・ 建築BIM推進会議 部会5対応
CDE WG	リーダー 山本 賢司（日本電気）	18名	・ CDE環境の在り方 ・ CDEで扱うデータの性質について討議	・ 連携用データの抽出プログラムの開発 ・ ストックデータの実証用CDE構築と実証実験 ・ フローデータのCDEの検討と実証環境の構築
専門工事業者連携WG	リーダー 三戸 景資（清水建設）	16名	・ 専門工事業者とのデータ関係の考え方を整理	・ 専門工事業者が必要とする情報の整理 ・ 同上のサンプルデータの作成 ・ 同上の試行

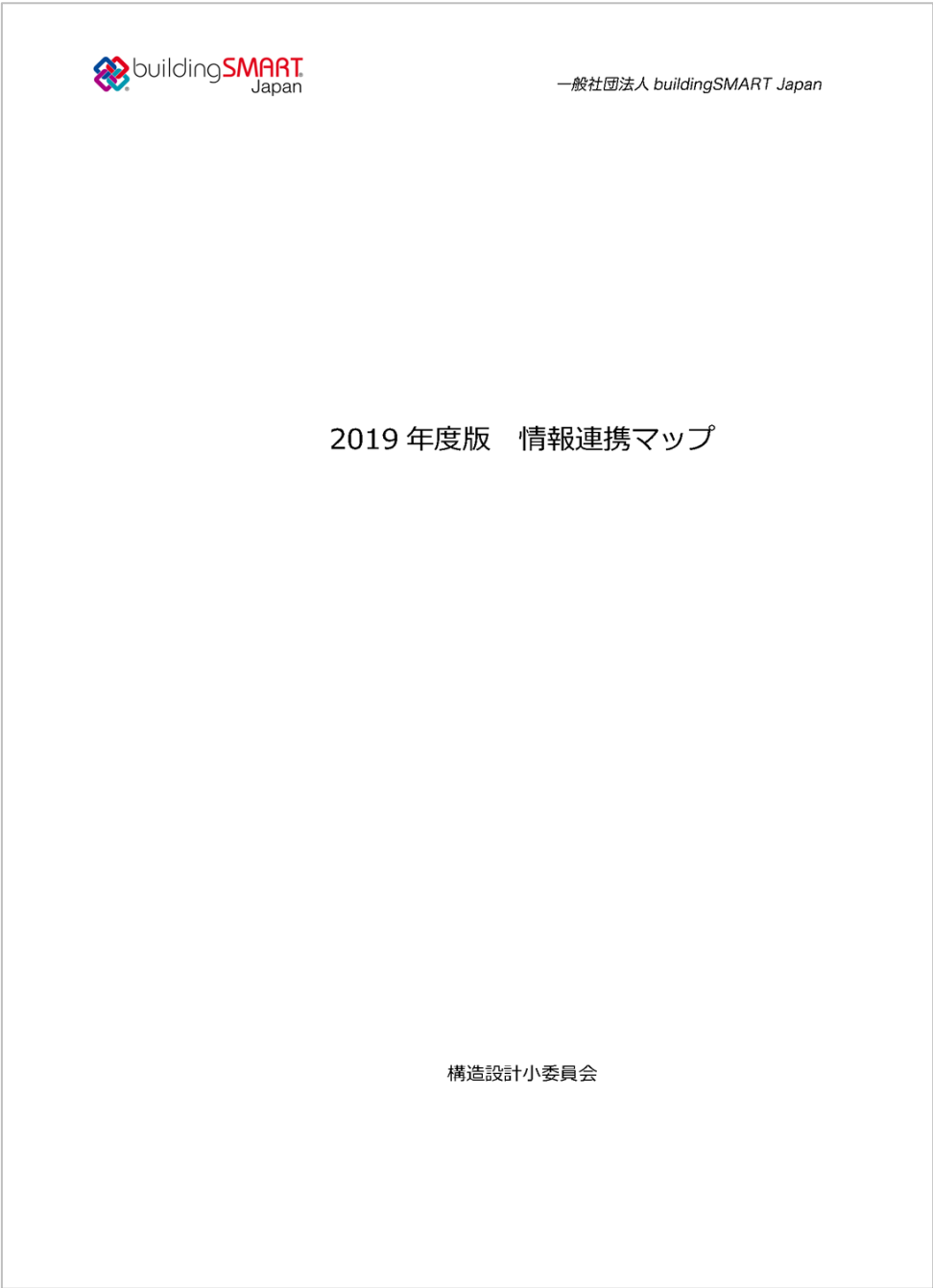
建築ガイドライン小委員会

活動主旨	海外のBIMガイドラインやISO等の調査・研究
主な目的	BIMに関する諸外国の動向を把握し、BIMガイドラインやISO、その他各国の仕様によるガイドライン等の文書や資料のアップデート等を調査し、意見交換と翻訳等を行う。
開催頻度	・ 1～2ヶ月に1回



体制			第17期活動実績	第18期活動計画
小委員会	委員長 武藤 正樹（建築研究所）	18名	・ 建築BIM推進会議 部会 5 対応として、BS, RIBA, ISOの規定について調査（建築研究所、一般社団法人 建築・住宅国際機構 (IIBH)と協業）	・ これまでの調査内容のレビューと、最新のBIM関連ISO規格、ガイドライン類等について、フォローアップ

成果物



構造設計小委員会
情報連携WG



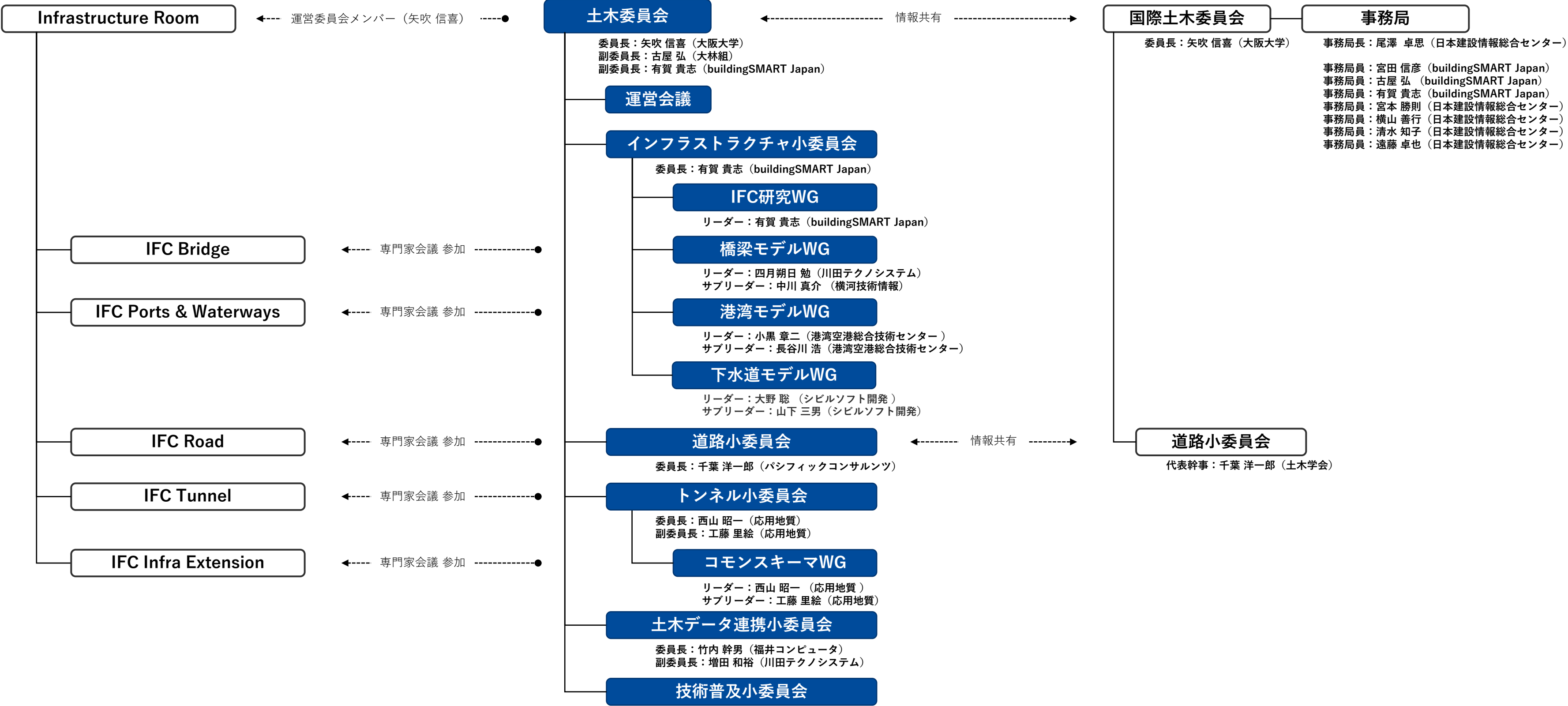
建築データ連携小委員会

buildingSMART Japan 土木委員会

buildingSMART International

buildingSMART Japan

buildingSMART Japan
日本建設情報総合センター



土木委員会

活動主旨	- 国際動向を踏まえたインフラデータの活用に関する情報提供、および国内のデータモデル活用に関わる機関への技術支援を行う。 - インフラ分野におけるデータ連携の実現を目指し、発注者、設計者、施工者等のユーザーと、アプリケーションを提供するベンダーが、オープンな環境で密接に連携した活動を行う。
主な目的	- 小委員会活動の監督 - 国際土木委員会との連携 - bSIのInfraRoomのプロジェクトとの連携 - 土木IFC検定の支援 - BIM/CIM講演会の開催支援
開催頻度	年3回開催



体制			第17期活動実績	第18期活動計画
土木委員会	委員長 矢吹 信喜（大阪大学） 副委員長 古屋 弘（大林組） 有賀 貴志（buildingSMART Japan）	72名	- 小委員会の活動を通じて、土木分野におけるIFCの適用の検討を実施した。 - bSJとJACICによる国際土木委員会において、国際動向の情報展開、および国内外の関係団体との情報共有を行った。 - 土木分野のIFC対応に関するIDMを更新した。 - BIM/CIM講演会を全国で6回で開催した。 - bSIサミット（デュッセルドルフ、北京）に出席し、情報収集および意見交換を行い、国内に情報展開した。	- 小委員会の活動を通じて、土木分野におけるIFCの適用の検討を実施する。 - bSJとJACICによる国際土木委員会において、国際動向の情報展開、および国内外の関係団体との情報共有を行う。 - BIM/CIM講演会を開催する。 - bSIサミットに出席し、情報収集および意見交換および国内情報展開を行う。
運営会議	委員長、副委員長 小委員長、副小委員長 WGリーダー、サブリーダー	16名	- 土木委員会の運営 - 小委員会の活動支援	- 土木委員会の運営 - 小委員会の活動支援

インフラストラクチャ小委員会

活動主旨	インフラ分野におけるIFCの適用研究
主な目的	・ bSIにおけるIFC5制定に伴う国内対応 ・ 国内のインフラ分野におけるIFC適用研究 ・ IFC検定に関するIDM作成 ・ 各分野の団体との連携強化 ・ IFC等の啓発活動
開催頻度	・ 小委員会は年3回開催 ・ 各WGは年6回開催



体制			第17期活動実績	第18期活動計画
小委員会	小委員長 有賀 貴志（buildingSMART Japan）	56名	・ インフラ分野へのIFCの適用について、WGを中心とした検討を実施した。 ・ bSIプロジェクトについて、InfraRoomで実施しているプロジェクト全般、特にIFC-BridgeおよびIFC-Ports&Waterwaysに対応した。 ・ IFCおよびIDMに関するセミナーを実施した。 ・ 社会基盤情報標準化委員会の以下の小委員会と連携しBIM/CIM、IFC等について検討を行った。 ・ シールドトンネルデータ連携標準化検討小委員会 ・ インフラアセット情報連携標準化検討小委員会	・ IFC5の制定に向けたbSIプロジェクトへの対応 ・ 社会基盤情報標準化委員会の以下の小委員会との連携 ・ シールドトンネルデータ連携標準化検討小委員会 ・ インフラアセット情報連携標準化検討小委員会
IFC研究WG	リーダー 有賀 貴志（buildingSMART Japan）	20名	・ 2017年に実施した土木IFC検定の更新として、土木モデル情報交換要件（IDM）を作成した。	・ 土木モデル情報交換要件の改訂 ・ BIM/CIMモデルに対するIFC適用の研究
橋梁モデルWG	リーダー 四月朔日 勉（川田テクノシステム） サブリーダー 中川 真介（横河技術情報）	13名	・ 鋼製橋梁に関する設計から製作の連携をシナリオとしたプロセスマップを作成した。 ・ 製作に必要な情報は、日本橋梁建設協会の策定した「設計情報属性ファイル交換標準（案）」（日本橋梁建設協会より提供）を想定したデータ連携を検討している。	・ 鋼製橋梁における設計から製作のデータ連携を想定したIDMの作成
港湾モデルWG	リーダー 小黒 章二（港湾空港総合技術センター） サブリーダー 長谷川 浩（港湾空港総合技術センター）	10名	・ 設計段階と施工段階のデータ連携のあり方を検討した。 ・ 施工段階では、設計段階で作成したデータを施工ステップの作成に用いる想定シナリオを作成し、アプリケーションの適用等を考慮したモデル構成を検討している。	・ 港湾構造物における設計から施工のデータ連携を想定したIDMの作成
下水道モデルWG	リーダー 大野聡（シビルソフト開発） サブリーダー 山下 三男（シビルソフト開発）	16名	・ 下水道モデルWGでは、下水道管きょの改築を対象とした情報交換要件（IDM）を作成した。 ・ 下水道台帳管理システムから得られる管きょ施設のデータを利用し、管きょおよびマンホール等の形状表現、属性情報などを示した。	・ 下水道管きょの改築を想定したIDMの改訂

道路小委員会

活動主旨	IFC-Roadの国内適用に際して課題の抽出と対応を検討する。 国際土木委員会の道路小委員会と連携。
主な目的	- 仕様内容の把握と研究 - 国内適用に際しての課題等の検討 - 国内事例への適用検証 - IFC-ROADの国内向けIDMの検討 - その他関する事項
開催頻度	基本的には、IFC ROADのEP開催時に開催する。



体制			第17期活動実績	第18期活動計画
小委員会	小委員長 千葉 洋一郎（パシフィックコンサルンツ）	13名	IFC ROADに関する以下の活動 - 仕様内容の把握と研究 - 国内適用に際しての課題等の検討 - 国内事例への適用検証 - その他関する事項	IFC ROADに関する以下の活動 - IFC仕様内容の把握と研究 - IFC-Alignment（IFC4。1）に関する検討 - 国内適用に際しての課題等の検討 - 国内事例への適用検証 - 国際土木委員会の道路小委員会と連携 - その他関する事項

トンネル小委員会

活動主旨	IFC-Tunnel策定作業の情報共有と、国内適用に関する課題と対応を検討する。
主な目的	- 仕様内容の把握と研究 - 国内適用に際しての課題等の検討 - 国内事例への適用検証 - その他関係する事項
開催頻度	隔月開催を基本とするが、bSIサミット開催のタイミングや、IFC Tunnelの検討フェーズに合わせて開催する。



体制			第17期活動実績	第18期活動計画
小委員会	小委員長 西山 昭一（応用地質） 副小委員長 工藤 里絵（応用地質）	10名	IFC Tunnelに関する以下の活動 ・ 進捗確認と対応方針 ・ bSIサミット対応 ・ 国内適用に際しての課題等の検討 ・ 国内事例への適用検証 ・ その他関係する事項	IFC Tunnelに関する以下の活動 ・ 進捗確認と対応方針 ・ bSIサミット対応 ・ 国内適用に際しての課題等の検討 ・ 国内事例への適用検証 ・ その他関係する事項
コモンスキーマWG	リーダー 西山 昭一（応用地質） サブリーダー 工藤 里絵（応用地質）	16名	IFC Common Shemaに関する以下の活動 ・ 進捗確認と対応方針 ・ bSIサミット対応 ・ その他関係する事項	IFC Common Shemaに関する以下の活動 ・ 進捗確認と対応方針 ・ bSIサミット対応 ・ その他関係する事項

土木データ連携小委員会

活動主旨	土木分野のソフトウェアを開発しているベンダーの開発者を中心に、ソフトウェアへのIFCの実装支援と検定支援を行う。また土木分野でのIFC連携における課題の把握と解決に向けた活動をおこなう。
主な目的	- 土木分野で活用されているソフトウェアへのIFCの実装と関連技術の研究・開発 - IFCによるデータ交換の検証実験 - IFCに対応したソフトウェアの普及・展開 - IFC検定への対応支援
開催頻度	- 定例小委員会（5月、11月、3月頃） - 臨時小委員会（適宜実施）



体制			第17期活動実績	第18期活動計画
小委員会	小委員長 竹内幹男（福井コンピュータ） 副小委員長 増田和裕氏（川田テクノシステム）	29名	- 土木分野のソフトウェアを開発しているベンダーの開発者を中心に、ソフトウェアへのIFCの実装支援と検定支援を行う。また土木分野でのIFC連携における課題の把握と解決に向けた活動をおこなう。 - 土木分野で活用されているソフトウェアへのIFCの実装と関連技術の研究・開発 - IFCによるデータ交換の検証実験 - IFCに対応したソフトウェアの普及・展開 - IFC検定への対応支援	- 土木分野で活用されているソフトウェアへのIFCの実装と関連技術の研究・開発 - IFCによるデータ交換の検証実験 - IFCに対応したソフトウェアの普及・展開 - IFC検定への対応支援

技術普及小委員会

活動主旨	土木分野におけるBIM/CIM、i-Construction等の推進に必要とされるIFC等の普及
主な目的	土木分野においてBIM/CIM、i-Construction等を推進し、IFC等の目的、開発・利活用状況等を広く知らしめるために、発注者、建設コンサルタント、施工業者、測量業者、ソフトウェア・ハードウェアベンダー、レンタル業者、教育関係者、学生、研究者などを対象に、講演会等を企画し開催する。
開催頻度	講演会の開催スケジュールに合わせ適宜開催(年5回程度) (企画時、スポンサー説明時、開催準備時など)



体制			第17期活動実績	第18期活動計画
小委員会	小委員長 石田 仁（五洋建設） 副小委員長 長谷川 充（水都環境）	4名	• BIM/CIM講演会2019の企画・運営 2019年8月 東京 2019年10月 大阪 2019年10月 札幌 2019年11月 福岡 2019年12月 仙台 2020年1月 東京	土木分野においてBIM/CIM、i-Construction等を推進し、IFC等の目的、開発・利活用状況等を広く知らしめるために、発注者、建設コンサルタント、施工業者、測量業者、ソフトウェア・ハードウェアベンダー、レンタル業者、教育関係者、学生、研究者などを対象に、講演会等を企画し開催する。

成果物



bSJ-CVL-IDM02-2020
bSJ-QC-I-001

土木モデル情報交換要件

bSJ-CVL-IDM02-2020

2020 年 2 月

一般社団法人 buildingSMART Japan
土木委員会 インフラストラクチャ小委員会

インフラストラクチャ小委員会
IFC研究WG



bSJ-CVL04-IDM2020

bSJ-CVL04-IDM2020 (DRAFT)
下水道管路施設情報交換要件

2020 年 4 月

一般社団法人 buildingSMART Japan
作成 土木委員会 インフラストラクチャ小委員会
下水道モデル WG

インフラストラクチャ小委員会
下水道モデルWG